

こども園関係者評価委員会 会議録

日時 令和6年6月24日(月) 午後1時半～

・園の取り組み状況 ※資料参照

○今年度、園舎の外壁の修繕工事を予定しています。

→登降園時は足場を組んでも出入りができるように配慮したり、運動会や発表会等に影響がない日程を調整しています。

・評価委員と園との意見交換

① 前回の関係者評価委員会後の取り組みについて

園での子どもの様子や遊びはたくさんの子の学びにつながっているということを保護者にどのように情報発信していくと伝わるかという課題に対して、園内で掲示しているドキュメンテーションに保育教諭の言葉を添えたり、掲示の意図を載せたり、掲示終了後もドキュメンテーションを廊下にファイリングして子どもの遊びや育ちが繋がっていることが見えるように工夫しています。また、子どもたちが園庭のどこにどんな虫がいるのか虫マップを作ったり、花のオーナメントなど子どもたちの作ったものや興味があるものを園内に飾ることで、送迎時に親子での会話につながるようにしています。

② こども園では、失敗こそ学びと捉え、何度でもチャレンジすることを大切にしている。それを予想しながら、十分な時間と余裕を持って子どもたちを見るなど、丁寧な対応を意図的にされていることに感心した。

③ 子どもたちが「さりげなく」発見できるように、保育教諭が意図を持って取り組んでいるが、家での生活の中では、生活体験がない、ゲームをする、外遊びや自然に触れることが少なくなっていると思うのですが。

→園で10時間過ごす子もいるので、家で遊ぶことは少ないと思います。園庭開放や保育参観など子どもの好きな遊びを親子で楽しんでもらうことで、園での遊びや興味関心を親子で共有し、家庭での会話につながったり、保護者同士の交流の場となればよいなと思っています。

④ 小学校との接続・連携について

今年度は駅家小学校の先生があおばこども園に来て、午後からの活動(給食準備、給食の様子など)を見たり、意見交流を行う予定です。

→保育教諭は、子どもたちが何かを発見したその瞬間をしっかりキャッチしている。子どもたちは試行錯誤するのが大好きで、自分でやってみたい、やってみたらおもしろそうと主体的に遊んでいる。小学校では、それを待てるだけの心の余裕がほしいと思います。こども園で取り組んでいる環境と仕掛けを保幼小連携でしっかりつなげていきたいと思っています。(小学校)

⑤ 地域との交流で学ぶことはありますか。

→もちつきなどコロナ禍でできなくなりました。また、敬老会やまちづくり文化祭も今は参加していませんが地域あつてのこども園ですので、行事だけに限らず、いろいろな形での交流をしていけたらと考えています。

⑥ 子どもの楽しみを増やす取り組みをお願いしたい。子どもの言うことは時間をかけてでも聞いてあげる姿勢が大切だと思います。

〈園長より〉 子どもがやりたい気持ちを大切に、教育保育を充実していきたいです。

次回 令和7年2月頃予定